

ポーラ美術館 2019年3月23日(土)より
大山エンリコイサム「Kairosphere」展 開催！ 横幅 9m におよぶ新作の初公開も
会期：2019 /3/23(土)～7/28(日)

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）は、2019年3月23日（土）から7月28日（日）まで、現代美術展示スペース「アトリウム ギャラリー」における HIRAKU Project、第8回目の展示として、大山エンリコイサム「Kairosphere」展を開催いたします。



大山エンリコイサム《FFIGURATI #207》2018
エアブラシ、アクリル性エアロソル塗料、ラテックス塗料、墨/カンヴァス（アルミニウムストレッチャーにマウント）
244×914 cm
Artwork © Enrico Isamu Ōyama
Photo © Go Sugimoto



大山エンリコイサム《FFIGURATI #9》2009
アクリル性エアロソル塗料/アクリルキューブ
Artwork © Enrico Isamu Ōyama

ニューヨークを拠点に活動する大山エンリコイサムは、「クイックターン・ストラクチャー」と呼ぶ表現を用い、制作を続けるアーティストです。「クイックターン・ストラクチャー」とは、地下鉄や都市の壁などにかかれたライティング（グラフィティ）の文字や色彩を取り除くことで見えてくる描線の型「クイックターン」を使用して画面を構築する、大山独自のスタイルです。彼は過去15年間にわたり、カンヴァスや壁、ファウンド・オブジェクト、さらにコム・デ・ギャルソンとのコラボレーション（2011年春夏パリ・コレクション）では衣服など、多様なメディアに「クイックターン・ストラクチャー」を展開してきました。

国内初の美術館での個展となる本展では、初公開となる新作の絵画《FFIGURATI #207》（2018年）を展示いたします。縦244cm、横幅914cmという過去最大の絵画作品は、15年間の制作活動で積み重ねられてきた「クイックターン・ストラクチャー」の集大成とも言えるでしょう。また、彼にとって制作の節目となった、アクリルを用いた立体作品《FFIGURATI #9》（2009年）も併せて展示することで、これまでの探究の軌跡をご覧いただけます。

本展タイトルの「Kairosphere」（カイロスフェア）は、「kairos」（時間）と「sphere」（圏）を組み合わせた大山による造語です。「kairos」は主観的な時間の概念であり、彼が制作のプロセスの中で感じた内面的な時間を表しています。また「sphere」は「stratosphere」（成層圏）や「atmosphere」（大気圏）といった語の接尾辞ですが、彼はこれを気体のように不定形かつ流動的な空間と定義しました。これらを組み合わせた「Kairosphere」には「緩やかにふくらむ、時間と空間の圏域」という意味が込められています。

このタイトルに示されるように、本展覧会では「クイックターン・ストラクチャー」が作品の物理的な枠と制作の時間を超え、空間全体に満ちていくようなインスタレーションをご体感いただけるでしょう。

■大山エンリコイサム（おおやま・えんりこいさむ） プロフィール：

1983 年、東京生まれ。慶応義塾大学卒業後、東京芸術大学大学院修了（2009 年）。エアロゾル・ライティングのヴィジュアルを翻案したモチーフ「クイックターン・ストラクチャー」をベースに壁画やペインティングを制作する。ポーラ美術振興財団在外研修員としてニューヨークにて研修（2013 年）。主な個展に「Improvise Mural」ロンドン芸術大学チェルシー校（ロンドン、2015 年）、「Windowsill」ルミネゼロ（東京、2017 年）、「Ubiquitous: Enrico Isamu Oyama」マリアンナ・キストラ・ビーチ美術館（カンザス、2017 年）、「Black」タクロウソメヤコンテンポラリーアート（東京、2018 年）など。著書に『アゲインスト・リテラシー—グラフィティ文化論』（2015 年、LIXIL 出版）。現在ニューヨーク在住。

■大山エンリコイサム「Kairosphere」

会 期：2019 年 3 月 23 日（土）～7 月 28 日（日）

会 場：ポーラ美術館 アトリウム ギャラリー

主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団

協 力：Takuro Someya Contemporary Art

■同時開催 ポーラ美術館×ひろしま美術館 共同企画「印象派、記憶への旅」

東西を代表するポーラ美術館とひろしま美術館の印象派コレクションより、モネ、ゴッホ、マティス、ピカソなどの作品を一挙公開。

会 期：2019 年 3 月 23 日（土）～7 月 28 日（日）

*2019 年 8 月 10 日（土）～10 月 27 日（日） ひろしま美術館にて開催

主 催：公益財団法人ポーラ美術振興財団ポーラ美術館、公益財団法人ひろしま美術館

■ポーラ美術館について (<http://www.polamuseum.or.jp/>)：

2002 年に神奈川県箱根町に開館。ポーラ創業家 2 代目の鈴木常司が 40 数年間にわたり収集した作品を中心に、西洋絵画、日本の洋画、ガラス工芸、古今東西の化粧道具など総数約 1 万点を収蔵。

・開館時間：9:00-17:00（入館は 16:30 まで）

・休館日：無休（展示替えのための臨時休館あり）

・所在地：〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

・TEL：0460-84-2111



■本件に関するお問い合わせ：

ポーラ美術館 広報担当：中西、藤田

TEL: 0460-84-2111 / FAX: 0460-84-3108

ポーラ美術館 広報事務局（プラップジャパン内） 担当：名取、屋木

TEL: 03-4570-8172 / FAX: 03-4580-9128 MAIL: polamuseum.pr@prap.co.jp